

藤岡地域包括支援センター 担当

日 時： 令和 7 年 8 月 20 日（水）午後 1 時 23 分～1 時 53 分

会 場： 栃木市役所大平総合支所

事例数： 1 ケース

参加者数： 15 名

事例提供者 1 名、サービス提供事業者 2 名、助言者 7 名、
包括職員 2 名、傍聴者 3 名

歩行量の減少による筋力低下が考えられる 90 歳女性

〈目標〉1日:時代劇を2時間見る。

1年:ボケないようにして認知症にならない。

利用サービス:通所介護、福祉用具レンタル

《生活全般の解決すべき課題》

- ・畑仕事で野菜作りをし、その食材で調理していきたい。
- ・心疾患があるため、心臓に負担がかからないように定期受診し、病状を安定させていきたい。

《助言者からの助言内容》

- ・残りの歯にも虫歯や歯周病が生じている可能性も考えられるため、歯科医院に定期受診する。
- ・よだれが垂れる原因を明らかにするために、歯科で高齢者の口腔機能低下症の検査を受ける。
- ・薬の一包化を図り、服薬管理を簡素化する。
- ・過去の骨折の影響を鑑みて、負担の少ない体操を取り入れて歩行機能の改善を図る。
- ・使用している薬はカリウムを多く含む飲料との相性が悪いため、水分摂取には水や白湯、麦茶を摂ると良い。
- ・店頭の貸出車いすや、傾聴ボランティアといった物的、人的資源を活用しコミュニケーションの機会を増やす。



☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・我慢強く悩み事を抱えてしまう性格である為、傾聴ボランティアなどを利用して本人の気分転換を図る。